

令和8年度 研 究 生・大学院研究生 募 集 案 内

名古屋大学工学部・工学研究科において、特別の事項について研究しようとする者があるときは、設備の許す限り、選考の上、研究生・大学院研究生として、入学を許可します。

◇安全保障輸出管理に係る手続きについて◇

名古屋大学（東海国立大学機構）では、「外国為替及び外国貿易法」に基づく安全保障輸出管理制度により、「東海国立大学機構安全保障輸出管理規程」（以下「規程」という。）を定め、貨物の輸出、技術の提供（人の受入を含む）について厳格な審査を実施しております。規程に抵触する場合は、入学試験の選抜に合格しても入学が認められない又は入学後の研究活動等に制限がかかることがありますので、ご注意ください。詳細については、以下のウェブサイトを参照願います。
なお、該当者には、個別に通知します。また、この場合も既納の検定料は返還しません。

<https://www.aip.nagoya-u.ac.jp/securityexport-extramural>

※日本国籍の方を含めて、出願者全員「類型該当性の自己申告書」の提出が必要になります。
※類型に該当する対象者については、該当性を判断する根拠となるエビデンス資料について出願書類とあわせてご提出ください。
※一部の学生においては、入学手続き時に「誓約書」の提出が必要となる場合があります。

1. 入学資格

I. 研究生

- a. 大学の工学部又はこれに相当する学部を卒業した者
- b. その他教授会において適当と認められた者

II. 大学院研究生

- a. 博士課程において所定の年限以上在学し、所定の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた者
- b. 修士の学位を有する者
- c. その他教授会において適当と認められた者

（注）民間企業に在職のまま研究生・大学院研究生になることはできません。

2. 入学の時期

入学の時期は、学期の始めとします。（春学期：4月、秋学期：10月）
ただし、特別の事情がある場合は、この限りではありません。

3. 検定料

検 定 料 9, 8 0 0 円（予定額）

検定料 9, 8 0 0 円は普通為替にて納入してください。

なお、事前に郵便局で普通為替を作成し、作成した為替には、**氏名等を一切記入しないでください。記入があるものは受理できません。**

4. 出願書類

- ① 入学願（本学部・研究科所定の「研究生入学願」）
 - * 出願前に、必ず指導教員及び学科長又は専攻長の承認印を取得してください。
 - * 顔写真（4×3cmのもの）貼付のこと
- ② 履歴書（本学部・研究科所定用紙）
- ③ 最終出身校卒業（修了）証明書
又は 卒業（修了）見込証明書 [本学の工学部・工学研究科出身者は不要]
- ④ 最終出身校成績証明書 [本学の工学部・工学研究科出身者は不要]
- ⑤ 類型該当性の自己申告書（所定用紙）
- ⑥ 顔写真（3×2.4cm：研究生証用）1枚
- ⑦ 角型2号封筒（入学手続等資料送付用）1枚 **6 9 0**円分の切手を貼付・住所及び氏名を記入。
- ⑧ 検定料 9, 8 0 0 円（普通為替）
 - * 出願後、提出書類は返付しません。

5. 出願手続

出願期間： 春学期：令和8年2月27日（金）～3月2日（月）
秋学期：令和8年8月25日（火）～27日（木）

窓口受付：上記出願期間 平日 9時～15時 <土日祝日を除く>

提出・郵送先：

〒464-8603 名古屋市千種区不老町
名古屋大学工学部・工学研究科 教務課入学試験係（E S 総合館3F）

※ 郵送の場合、**最終日15時必着**。必ず**簡易書留速達郵便**にて、出願期間内に間に合うよう発送願います。

※ 封筒の表に「**工学部・工学研究科 研究生出願書類在中**」と朱書きしてください。

※ 出願書類に検定料**9, 8 0 0 円（普通為替）**を添えて提出・郵送願います。

6. 入学許可及び入学手続き

入学の許可又は不許可は決定次第、郵送にて本人に通知します。

また、入学を許可された者は、後日送付する入学手続案内^(※)に従い、所定の期日までに入学料及び授業料を納入する必要があります。

(※) 詳細は、入学許可通知に同封します。

春学期：令和8年3月中旬 秋学期：令和8年9月下旬に本人宛郵送予定。

〈令和8年度研究生授業料等(予定)〉

① 入学料	84,600 円(予定額)
② 授業料	月額 29,700 円(予定額)

春学期(4月～9月)及び秋学期(10月～翌年3月)の2期の区分ごとに、それぞれの期における在学予定期間に相当する授業料の額を4月及び10月に納入していただきます。

- * いかなる理由があっても、既納の諸費用は返還しません。
- * 入学時および在学中に授業料等の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。
- * 研究に要する費用は、設備に付帯するもののほか、すべて自弁とします。

7. 在学期間

- 在学期間は1年とします。ただし、学年の中途において入学した場合における在学期間は、当該学年末までとします。
- 在学期間が満了しても研究の必要により引き続き在学しようとする者は、研究生・大学院研究生継続願及び履歴書等必要書類を添え、出願期間に出願し、許可を受けなければなりません。
(『研究生・大学院研究生継続手続案内』参照)

8. 個人情報の取り扱い

住所・氏名・生年月日その他の個人情報は、入学選考、合格発表、入学手続き及びこれらに付随する事項にのみ利用します。

また、取得した情報は適切に管理し、利用目的以外には利用しません。

9. 本件に関する照会先

名古屋大学工学部・工学研究科教務課入学試験係

電話：052-789-3974

Email: eng-admission [at] t.mail.nagoya-u.ac.jp

[at] は、@に換え、件名は必ず【研究生】としてください。

10. その他

- ◆ 本学では、自動車等の入講規制を行っています。
- ◆ 入学後の修学に関して相談の希望がある者は、学生支援本部にて随時受け付けているので、お問い合わせください。

【学生支援本部】

電話：052-789-5805

Email: soudan [at] gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp

[at] は、@に換えてください。

研 究 生 入 学 願

Application for Research Student

年 月 日
Year Month Date

名古屋大学工学部長・大学院工学研究科長 殿
To the Dean of School/Graduate School of Engineering, Nagoya University

顔 写 真
(縦 4cm x 横 3cm)

Photo Paste
(縦 4cm x 横 3cm)

貴学部・研究科において、下記事項を研究したいので、ご許可くださるようお願いいたします。
As stated below, I hereby apply for admission to the School/Graduate School of Engineering, Nagoya University.

ふりがな Pronunciation in Hiragana 氏 名 Name				印 鑑 Sig.		
国 籍 Nationality		男・女 M・F	生年月日 Date of Birth	年 月 日生 Year Month Date		
現 住 所 Present Address						
連絡先 Contact	電話 phone		e-mail			
最終学歴 Last school attended	大学 年 月 卒業（修了）・卒業（修了）見込 University Year Month graduated / expected to graduate					
研 究 事 項 Research theme						
研 究 期 間 Term of research	自 2026 年 4 月 1 日 From Year Month Date			至 2027 年 3 月 31 日 To Year Month Date		
身分※ Status	学部研究生 ・ 大学院研究生 Undergraduate Research Student / Graduate Research Student					
学科長又は専攻長承認印 Head of Department Approval	Seal	指 導 教 員 Academic advisor	職 名 Position	氏 名 Name	承認印 seal of approval	Seal

【大学記入欄】 University entry column

受付番号 Application number	受付年月日 Date received	取 扱 者 Recipient	検 定 料 Application fee	備 考 Remark

履歴書

年 月 日現在

ふりがな						
氏 名						
生年月日	年	月	日生	(満 歳)	性 別	男 ・ 女
国 籍		電話		e-mail		
現住所	(〒 -)					

年	月	学歴・職歴（各別にまとめて書く）

※履歴が書ききれない場合は、別紙(任意様式)にて提出のこと

緊急連絡先 ※必ず本人以外で、日中の連絡先を記入してください。

ふりがな	続柄	電話	e-mail
氏 名			
住 所			
(〒)			

類型該当性の自己申告書

名古屋大学に教職員として応募する方、学生として出願する方には「外国為替及び外国貿易法」に基づく「みなし輸出」における管理対象であるかどうかの自己申告をお願いさせていただきます。

ご自身の立場について別紙フローチャートを参照いただき、該当の項目にチェックを入れて応募および出願の書類と一緒にご提出ください。

部局

氏名

☐ 類型①に該当 ☐ 類型②に該当 ☐ 類型③に該当 ☐ いずれにも該当しない

類型①～③に該当する方は下記にその根拠を記載し、エビデンスを提出してください

該当性の根拠

例：〇〇機関に雇用されている、〇〇から資金提供・奨学金を取得している、もしくは予定
()

エビデンス資料

例：海外機関の雇用証明書(雇用通知書・契約書)、海外機関からの資金提供通知書(個人)、奨学金の受給通知もしくは申請書など
()

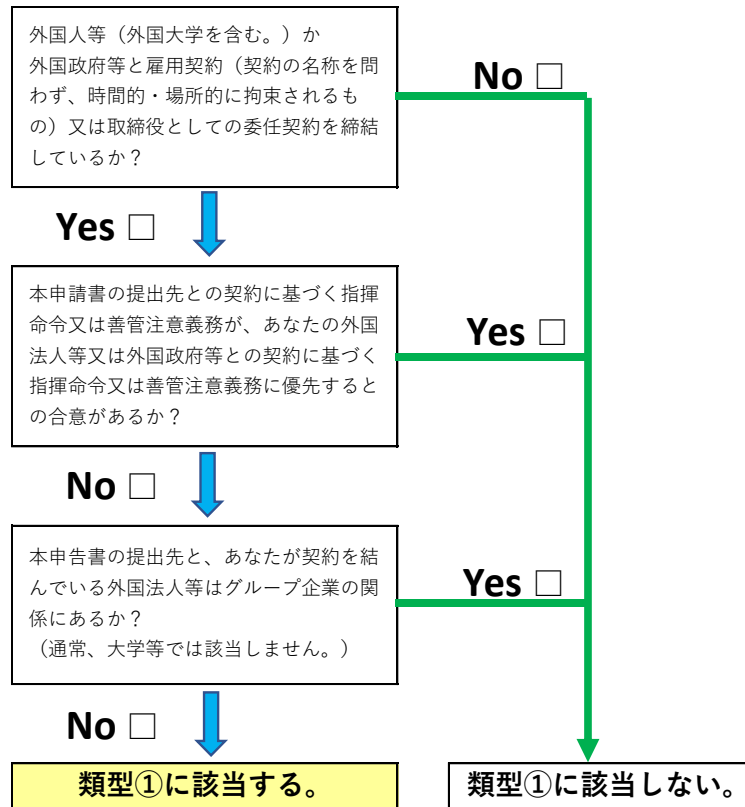
※類型該当性の判断について不明な場合は下記にお問合せください。

名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部 安全保障輸出管理事務局

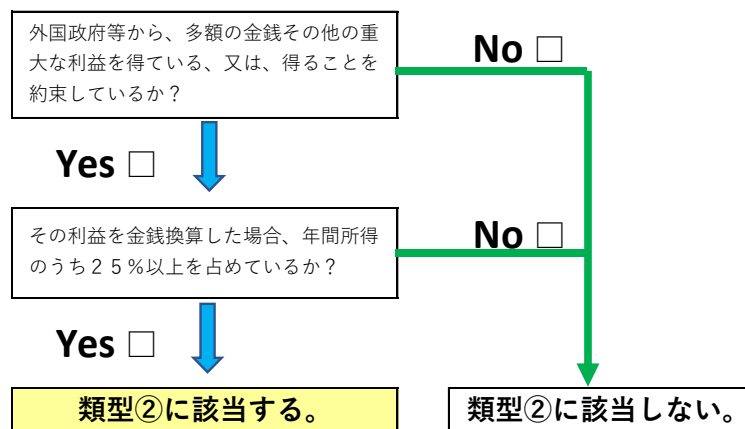
E-mail : anzen@t.thers.ac.jp TEL : 052-747-6702

類型該当性判断のフローチャート

類型①



類型②



類型③

